

# 令和元年がん検診受診率について（国民生活基礎調査結果）

## 1 趣 旨

令和2年7月17日に厚生労働省から公表された「令和元年国民生活基礎調査」の結果をもとに、独自にがん検診受診率を算出した。5がん全てにおいて前回調査より受診率が向上したが、目標の50%（令和元年度目標45%）は達成できなかった。

### ◆令和元年国民生活基礎調査結果

区分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
広島県	41.3%	45.9%	41.0%	43.6%	43.9%
全国	42.4%	49.4%	44.2%	43.7%	47.4%

#### 前回調査（H28）比較増減

受診率	0.8p 上昇	3.8p 上昇	2.2p 上昇	3.4p 上昇	3.6p 上昇
-----	---------	---------	---------	---------	---------

区分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
(参考) 平成28年					
広島県	40.5%	42.1%	38.8%	40.2%	40.3%
全国	40.9%	46.2%	41.4%	42.4%	44.9%
平成25年					
広島県	40.5%	41.3%	37.2%	43.9%	43.0%
全国	39.6%	42.3%	37.9%	42.1%	43.4%
平成22年					
広島県	32.6%	23.3%	23.3%	40.0%	36.9%
全国	32.3%	24.7%	26.0%	37.7%	39.1%

※1 胃・肺・大腸については過去1年以内、子宮・乳については過去2年以内の受診状況を調査

※2 第3次広島県がん対策推進計画において、がん検診受診率目標の対象年齢が40～69歳（子宮がん20～69歳）

としていることから、この対象年齢に合わせて算出したもの（厚生労働省においても、平成25年調査から、国のがん対策推進基本計画にあわせて同様の対象年齢により算出・公表している。）

#### ◆◆ 令和元年国民生活基礎調査 ◆◆

【調査実施】 令和元年6月

【調査対象】 全国の約30万世帯・世帯員約72万人

※うち広島県のがん検診受診率算出の対象者

検診種別	調査回答者数	住民基本台帳年齢階級別人口(参考)H31.1.1現在	抽出率
胃, 肺, 大腸がん(40～69歳)	1,132人	1,127,069人	0.1%
子宮がん(20～69歳)	799人	860,789人	0.1%
乳がん(40～69歳)	569人	568,595人	0.1%

## 2 分 析

前回調査（平成28年）や全国状況、男女別、年齢層別に分析を行った。

### (1) 全体概況

○ 5がん全てにおいて前回調査より受診率が向上したが、目標の50%（R元年度目標：45%）に届いていない

○ 肺がん、子宮頸がん、乳がんは、前回調査から全国平均とのポイント差を詰め、全国順位も上昇

	肺がん	子宮頸がん	乳がん
全国平均との差	△4.1p→△3.5p	△2.2p→△0.1p	△4.6p→△3.5p
全国順位	38位→37位	34位→27位	40位→38位

○ 胃がん、大腸がんは、受診率は向上したものの、全国平均とのポイント差が開き、全国順位も下降

	胃がん	大腸がん
全国平均との差	△0.4p→△1.1p	△2.6p→△3.2p
全国順位	31位→32位	36位→38位

○ 令和元年6月に実施された調査であり、主に平成30年度までの取組が反映されたと推察

(2) がん種別分析  
① 胃がん

R元 胃がん検診(広島県)					H28広島県 との比較	R元全国 平均比較
性別	年齢階層	対象者数	受診者数	受診率		
男	40~44歳	92	44	47.8%	1.4%	1.6%
	45~49歳	108	51	47.2%	2.8%	-0.8%
	50~54歳	93	52	55.9%	8.0%	6.2%
	55~59歳	77	40	51.9%	0.0%	-1.5%
	60~64歳	81	39	48.1%	1.7%	-1.5%
	65~69歳	111	43	38.7%	1.3%	-3.6%
	計	562	269	47.9%	2.6%	-0.1%
女	40~44歳	98	31	31.6%	-1.7%	-3.2%
	45~49歳	105	39	37.1%	3.8%	0.3%
	50~54歳	89	37	41.6%	7.4%	2.1%
	55~59歳	83	29	34.9%	-9.6%	-5.0%
	60~64歳	90	30	33.3%	-3.8%	-3.4%
	65~69歳	104	34	32.7%	-0.6%	-2.6%
	計	569	200	35.1%	-0.7%	-1.9%
計	40~44歳	190	75	39.5%	-1.2%	-1.0%
	45~49歳	213	90	42.3%	3.5%	-0.1%
	50~54歳	183	88	48.1%	8.0%	3.6%
	55~59歳	160	69	43.1%	-5.4%	-3.4%
	60~64歳	171	68	39.8%	-1.9%	-3.2%
	65~69歳	215	77	35.8%	0.3%	-2.9%
	合計	1,132	467	41.3%	0.8%	-1.2%

ポイント(特徴)  
《プラス要素》

- ①男女とも50~54歳の層で受診率が最も高い。かつ、対H28年比較で最も伸び、対全国比較(R元)でも最もプラス
- ②女性は45~49歳の層が2番目に受診率も、対H28年比較、対全国比較も良い。

《マイナス要素》

- ③男性は65~69歳の受診率が極端に低く、対全国比較でも最も悪い。
- ④女性は40~44歳の受診率が最も低いが、55~59歳が対H28年比較、対全国比較でもマイナスが最も大きいなど、上記①・②の層以外は軒並み悪い。

② 肺がん

R元 肺がん検診(広島県)					H28広島県 との比較	R元全国 平均比較
性別	年齢階層	対象者数	受診者数	受診率		
男	40~44歳	92	43	46.7%	0.3%	-3.5%
	45~49歳	108	55	50.9%	4.3%	-1.9%
	50~54歳	93	54	58.1%	10.1%	3.3%
	55~59歳	77	43	55.8%	3.9%	-3.1%
	60~64歳	81	41	50.6%	1.1%	-5.2%
	65~69歳	111	48	43.2%	2.4%	-5.7%
	計	562	284	50.5%	3.7%	-2.8%
女	40~44歳	98	34	34.7%	-0.8%	-7.4%
	45~49歳	105	48	45.7%	14.5%	0.2%
	50~54歳	89	41	46.1%	6.8%	-2.5%
	55~59歳	83	37	44.6%	-3.2%	-5.0%
	60~64歳	90	35	38.9%	0.8%	-6.3%
	65~69歳	104	40	38.5%	2.3%	-5.0%
	計	569	235	41.3%	3.5%	-4.3%
計	40~44歳	190	77	40.5%	-0.6%	-5.6%
	45~49歳	213	103	48.4%	9.6%	-0.8%
	50~54歳	183	95	51.9%	8.5%	0.3%
	55~59歳	160	81	50.6%	0.9%	-3.5%
	60~64歳	171	76	44.4%	0.8%	-5.9%
	65~69歳	215	88	40.9%	2.6%	-5.2%
	合計	1,132	520	45.9%	3.8%	-3.5%

ポイント(特徴)  
《プラス要素》

- ①男女とも50~54歳の層で受診率が最も高い。かつ、男性では、対H28年比較で最も伸び、対全国比較でも最もプラス
- ②女性は45~49歳の層が受診率は2番目に高く、対H28年比較、対全国比較で最も良い。

《マイナス要素》

- ③男性は65~69歳の受診率が極端に低く、対全国比較でも最もマイナス
- ④女性は40~44歳の受診率が最も低く、対全国比較でもマイナスが最も大きい。

③ 大腸がん

R元 大腸がん検診(広島県)					H28広島県 との比較	R元全国 平均比較
性別	年齢階層	対象者数	受診者数	受診率		
男	40~44歳	92	40	43.5%	1.1%	-1.0%
	45~49歳	108	46	42.6%	0.4%	-4.4%
	50~54歳	93	45	48.4%	10.0%	-0.6%
	55~59歳	77	38	49.4%	1.2%	-3.6%
	60~64歳	81	38	46.9%	3.5%	-2.9%
	65~69歳	111	44	39.6%	3.1%	-4.8%
	計	562	251	44.7%	3.0%	-3.1%
女	40~44歳	98	31	31.6%	-0.6%	-5.8%
	45~49歳	105	41	39.0%	6.8%	-1.6%
	50~54歳	89	33	37.1%	1.6%	-6.0%
	55~59歳	83	35	42.2%	-0.2%	-1.5%
	60~64歳	90	35	38.9%	0.8%	-2.1%
	65~69歳	104	39	37.5%	-0.1%	-2.2%
	計	569	214	37.6%	1.1%	-3.2%
計	40~44歳	190	72	37.9%	0.4%	-3.0%
	45~49歳	213	86	40.4%	3.8%	-3.4%
	50~54歳	183	79	43.2%	6.3%	-2.8%
	55~59歳	160	73	45.6%	0.6%	-2.6%
	60~64歳	171	72	42.1%	1.4%	-3.1%
	65~69歳	215	82	38.1%	1.0%	-3.9%
	合計	1,132	464	41.0%	2.1%	-3.2%

ポイント(特徴)  
《プラス要素》

- ①男性は55~59歳の層で最も受診率が高い。また、50~54歳の層が2番目に受診率が高く、対H28年比較、対全国比較でも最も良い。
- ②女性は55~59歳の層で最も受診率が高い。次に45~49歳の層が受診率が高く、対H28年比較で最も伸びている。

《マイナス要素》

- ③男性は65~69歳の受診率が極端に低く、対全国比較でも最も悪い。
- ④女性は40~44歳の受診率が最も低く、対全国比較でのマイナスも大きい。

④ 子宮頸がん

年齢階層	R元 子宮頸がん検診(広島県)			H28広島県との比較	R元全国平均比較
	対象者数	受診者数	受診率		
20～24歳	44	7	15.9%	-0.4%	0.8%
25～29歳	47	19	40.4%	5.0%	3.9%
30～34歳	65	35	53.8%	2.2%	4.4%
35～39歳	74	39	52.7%	3.3%	-0.3%
40～44歳	98	47	48.0%	-2.6%	-8.2%
45～49歳	105	52	49.5%	5.8%	-3.4%
50～54歳	89	48	53.9%	12.2%	3.0%
55～59歳	83	36	43.4%	-4.5%	-1.2%
60～64歳	90	33	36.7%	2.4%	0.0%
65～69歳	104	32	30.8%	3.1%	0.6%
計	799	348	43.6%	3.4%	-0.1%

ポイント(特徴)

《プラス要素》

①50～54歳の層で最も受診率が高く、対H28年比較でも最も伸びている。

《マイナス要素》

②20～24歳の受診率が極端に低い。また、55～59歳で対前回は最も悪く、40～44歳が全国比で最も悪い。

⑤ 乳がん

年齢階層	R元 乳がん検診(広島県)			H28広島県との比較	R元全国平均比較
	対象者数	受診者数	受診率		
40～44歳	98	44	44.9%	1.9%	-8.4%
45～49歳	105	52	49.5%	7.9%	-3.0%
50～54歳	89	48	53.9%	12.2%	1.6%
55～59歳	83	37	44.6%	-5.4%	-5.1%
60～64歳	90	37	41.1%	2.1%	-1.3%
65～69歳	104	32	30.8%	-0.4%	-4.9%
計	569	250	43.9%	3.7%	-3.4%

ポイント(特徴)

《プラス要素》

①50～54歳の層で最も受診率が高く、対H28年比較、対全国比較でも最も伸びている。

《マイナス要素》

②65～69歳の受診率が極端に低い。また、55～59歳で対前回は最も悪く、40～44歳が全国比で最も悪い。

(3) 分析まとめ ～仮説

① 全5がん受診率が向上

⇒これまでの取組に一定の成果があったのではないかと(目標未達であり更なる取組必要)

② 女性特有のがんの受診率が向上

⇒女性をターゲットとした「一斉受診月間」(H30, R1)の取組に一定の効果があったのではないかと(直接的な効果が少ないため2年で終了したが、PRによる波及効果があった可能性)

⇒女性の就業率が高まった影響もあるのではないかと。

③ 男女共通の3がんとも男性の受診率が高く、女性の受診率が低い

④ 全5がん受診率として、50～54歳の層の受診率が高く、対前回は、対全国比でも最も良い傾向

⑤ 全5がん受診率として、45～59歳の層の受診率が高く、男性の場合、その傾向が強く見られる。

⑥ 全5がん受診率として、65～69歳の層の受診率が低く、対前回は、対全国比でも悪い。男性の場合、その傾向が強く見られる。

⇒③～⑥を加味すれば、市町検診よりも職域でのがん検診受診勧奨に一定の効果があったのではないかと。

【参考】年齢調整死亡率

がん対策の全体目標である75歳未満年齢調整死亡率は、長期的な傾向としては、全国平均を上回る率で着実に減少している。

(単位：人口10万人当たり人)

区分	平成11年	平成21年	平成29年	平成30年	令和元年	目標(R5)	減少率	
							(H11→R1:20年)	(H21→R1:10年)
全国	104.3	84.4	73.6	71.6	70.0	—	32.9%	17.1%
広島県 (全国順位)	106.3 (37位)	78.1 (10位)	70.3 (17位)	69.8 (19位)	67.1 (13位)	58.0	36.9%	14.1%